

銅鐸と米づくり

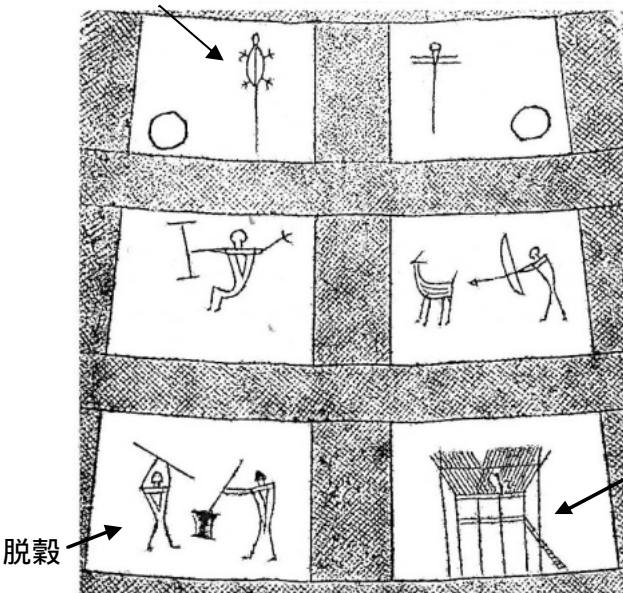
高山 邦明（千葉市緑区在住）

弥生時代に作られた銅鐸（どうたく）。青銅で作られたお寺の鐘（かね）のような姿を学校の教科書や博物館で一度はご覧になったことがあると思います。紀元前後の400年間に作られた銅鐸は近畿・山陰地方を中心に各地で見つかり、千葉県でも市原や袖ヶ浦、木更津で発掘されています。これまでに全国で400～500個発見された銅鐸のうち、1割くらいに古代人が絵を描いていて、その中に、田んぼに関係した絵があるのをご存知ですか？とてもおもしろいので皆さんにご紹介します。



下の絵は香川県から発掘された有名な国宝の銅鐸に描かれているものです。高さ43センチの銅鐸の表と裏に6つずつの区画があって人や生きものの絵がたくさん描かれています。昆虫の仲間ではトンボとカマキリ、そしてクモが見られます。カマキリは手の鎌に加え、お腹のふくらみからお尻にかけてのラインが写実的で、特徴をよく捉えています。トンボは羽根を二本の線で描いてとてもシンプルです。クモもまたシンプルなのですが、前2本、後ろ2本の足を揃えている様子は夏に田んぼで網を張るコガネグモの仲間を彷彿させます。兵庫で見つかった別の銅鐸では似た絵で足が4本しかない姿が描かれていて（下段の図）、アメンボウとする解釈もあるようですが（アメンボウは前足が短いので遠目に4本足に見える）、谷津田でコガネグモを見慣れている目にはクモのような気がしてなりません。

トカゲ・イモリ



脱穀

高床式
倉庫

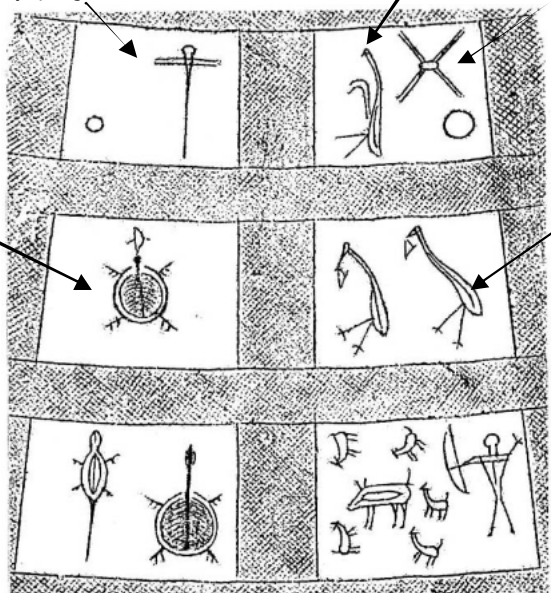
トンボ

カマキリ

クモ

カメ

サギ



香川で発見された銅鐸（国宝）の絵

爬虫類ではカメの絵があります。首の長さや甲羅の形からするとスッポンでしょうか。トカゲないしイモリや、兵庫の銅鐸にはカエルやヘビも描かれています。カエルは一筆書きのようなとてもシンプルな絵ですが、ひと目でそれとわかる絵は見事と言っていると思います。

鳥ではサギが描かれています。口に魚らしきものをくわえていて生態を捉えた絵となっています。サギでなくてツルだという説もあるようです。

こうした生きものはどれも田んぼで暮らしています。トンボやカエルという童謡にも歌われているように親しみのある生きものですが、カマキリやクモを描くというのはちょっと意外な感じがします。共通しているのは他の虫を捕まえて食べること。もしかしたらイナゴやウンカなど田んぼの害虫を捕まえてくれる大切な生きものとして描かれたのかもしれないですね。

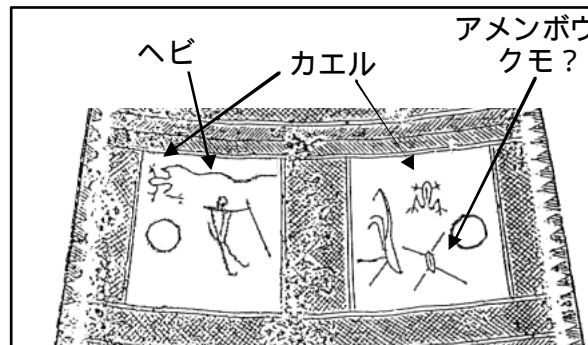
田んぼに直接関係した絵として、二人の人間が杵でついている様子が描かれています。もちつきに見えますが、脱穀と解釈されているようです。その昔は今のよう稲を株の根元から刈ることをせず、「穂刈り」といって穂だけを刈っていました。刈った穂を臼に入れてつくことで

アメンボウ？

クモ？

ヘビ

カエル



兵庫発見された銅鐸（国宝）の絵

脱穀あるいは籾すりをしているのでしょうか。隣には高床の倉庫の絵もあります。高床式倉庫と言えば、登呂遺跡など弥生時代の遺跡で見つかった穀物の貯蔵庫です。きっと収穫した米をこの倉庫に保管していたのでしょう。

銅鐸の使い道は古代史の謎の一つですが、一般的には中に石や骨の棒をつるしてお祭りの時に鳴らしたと言われてます（内側から鳴らすので鐘でなく、鈴の仲間。銅鐸の「鐸」は命令を発する時にならす鈴のこと）。田んぼを守ってくれる生きものを描いた銅鐸を使って五穀豊穡を祈ったことでしょうか。

米づくりが始まったばかりの弥生時代を生きた大先輩が私たちと同じようなまなざしで田んぼやそこで暮らす生きものを見つめ、米づくりをしていたことが銅鐸の絵から伝わってきます。2000年の時を超えて日本人の共通した感覚、意識があることを知り、とてもうれしくなりました。銅鐸は上野の国立博物館や佐倉の国立歴史民族博物館で本物を見ることができますので、ぜひ一度足を運んで日本人が最初に描いた絵を味わってみてください。田んぼファンにはたまらない絵です！

谷津田いきもの図鑑 No.29

ショウブ

ショウブというと端午の節句にお風呂に入れることでご存知の方が多いと思います。葉っぱの形が刀に似ていることから、中国では古くから男の子にとって縁起の良い植物として飾られていたそうです。日本では古くは「あやめ」と呼ばれていて、朝廷の儀式に使われていたということです。万葉集などで「菖蒲（あやめ）」と言えば、このショウブのことです。甘い香りを発するショウブは端午の節句の菖蒲湯として使われ、また根（根茎）は胃に効く漢方薬としても活用されています。紫の大きな花を咲かせるアヤメと混同されることが多いのですが、花を楽しむのはアヤメ科のアヤメやハナショウブで、ショウブはサトイモ科で、右の写真のようにバナナのような棒状の目立たない花をつけます。林の中に咲くマムシグサやウラシマソウ、尾瀬で有名なミズバショウがサトイモ科で、花の形がよく似ています。

下大和田や小山では土水路の水辺や放棄された田んぼに群生しています。地下茎でどんどん増えるので、水路を覆ってしまったり、田んぼの仲に進出してきたり、時にはちょっと困った植物になることもあります。マコモなど似た植物がありますが、わからなかったら茎を折って匂いをかいでみればショウブかどうかすぐわかります。（高山邦明）



「やつだ大福帳」のご案内

皆様方の千葉市緑区の下大和田谷津田での活動がより楽しいものになりますように、ポイントカード「やつだ大福帳」を作ります。活動に参加してポイントを貯めることで収穫したお米をもらえる量が決まります。

【勘定の掟】

1. 下大和田のYPP田んぼや地元の方の田んぼ、林が対象で10点に達したらYPPの新米1kgを収穫祭の時に差し上げます。
2. ポイントに有効期限はありません。
3. 小学校3年以下のお子様との参加はお子様ひとりあたり表の半分の勘定がつかます。
4. 大福帳を紛失しても貯まっている勘定で再発行します。
5. 年度末で10点に達しない場合でお米希望の方には、次年度からの前払いに応じることができます。
6. ご家族内での勘定合算はできます。最初から家族カードもOKです。
7. 親しい友人との勘定合算にも勘定奉行に応じますが、差し上げるお米は1kg単位です。
8. 会員の方のプレミアムとして年末にお米引き換え時、モーモーパッチのようなクラフト作品が1個もらえます。

大福帳は5月から配布予定です。ご家族、お友達お誘いの上、活動を盛り上げていただけるとうれしいです。

（南川忠男）

勘定項目		
お米づくり	田起こし	2点
	田植え	2点
	草取り	2点
	かかし作り	1点
	稲刈り	2点
	脱穀	2点
	もみすり	1点
	時間外割増(2時間で)	1点
	土水路(どろすくい)	2点
	土水路(草刈り半日)	2点
林の手入れ	枝うち	2点
	下草刈り	2点
	わらうち	1点
イベント	定例YPP(収穫祭ほか)	1点
	定例(観察会)	1点
	漫画講座	1点
	環境講座	1点
	クラフト教室	1点
	エコメッセ	1点
	広場草刈	1点
	運動会	1点
	各種目優勝	1点
提供系	運動会賞品製作	時価
	イベント時炊き出し	時価
企画系	YWPプランナー	3点
	その他	時価



里山たんけんレポート

第 111 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2009 年 4 月 5 日(日) 雨

曇ってはいましたが穏やかな日となりました。道端は春の花がいっぱい。斜面林の雑木もうっすらと芽吹きの色に彩られ、川辺のショウブも伸び緑の色を濃くしていました。北斜面のコブシは今が満開、花を手繰り寄せて観察。満開の若木のサクラは花の香を楽しんだり若葉を齧ってみました。花は白く大きめ、ほのかに桜餅の香がありますが葉は香りません。オオシマザクラと思えますが山桜の特徴を持っているという声もありました。冬鳥の多くは去ったようでしたがアオジは未だ少し残っていました。カワセミが何回も谷津をいったり来たりしていました。ここには殆ど姿を見せないハシボソガラスが田んぼに 1 羽降りているのが見られました。

山の中はタチツボスミレ、アカネスミレが咲き、ニオイタツボスミレでは花に顔を寄せ香を楽しみました。フデリンドウはいっぱい、気をつけないと踏みそうになるくらいでしたが日が照らなかったので蕾状態が多くちょっと残念でした。羽化したばかりのシオヤトンボや冬を越したホソミオツネトンボなども林内にいます。間もなく田んぼに出てくるでしょう。

散策の間中シュレーゲルアオガエルの合唱とウグイスの囀りが谷津に響き、春を満喫した散策でした。

(参加者 大人 11 名、子ども 3 名； 報告：網代春男)

第 95 回 下大和田 YPP「苗代づくり田んぼの手入れ」

2009 年 4 月 18 日(土) 晴れ

古代米の種モミ播きを行いました。今回初めて、一般の方々にも多数参加いただき、種モミ播きを体験してもらいました。

4 月 12 日～13 日に緑米・黒米・赤米・農林 1 号を水に浸し、18 日当日には 4 種類の種モミが程よい芽出し状態になりました。さあー！種モミ播きの始まりです。まずは種モミの播き方の説明をして、皆さん長靴を履いて田の中へ！初めて田んぼに入る人もいて、「キヤー足が脱げない！」「オタマジャクシがいる！」「ヤゴを見つけた！」と賑やかな声が飛び交いながら、前もって用意した苗床に種モミを播いてもらいました。播いた後は泥水を掛けて手でやさしく押さえて根付いてくれと願いを込めました。仕上げは保温と鳥食害を避けるため、昨年使った竹の支柱を弓なりに張って、ビニールトンネルを掛け、最後に蒸れ防止用の孔を開けて完成しました。種モミ播きに参加された皆様方、春の田んぼの感触は如何でしたか？皆さんが播かれた種は 6 月の初旬には田植えできるように成長していると思いますので、ぜひ田植えにも参加して自分達で作った苗の田植えをして下さい。



作業が終わって記念撮影(撮影 田中正彦)

種モミ播きと平行してコシヒカリ田・カヤネズミ田の草取りも行われました。コシヒカリ田は見違えるようにきれいになり、カヤネズミ田は時間切れで 1 / 3 ほどが除草できませんでした。お昼には野草の天ぷらを皆さんに食べてもらいたいと俄か天ぷら屋も出て、子供達も初めて食べる野草の天ぷらに「美味しい」とパクついていました。汁物も春キャベツを具に手作りの味噌で、これもまた美味しかった！スイートな大きいイチゴの差し入れもあり、皆舌鼓を打ちました。子供達はドロンコになりながら小川に入ったりしてメダカを追いかけ、遅くまで春の谷津を駆け回っていました。

- * 父と娘と 父と息子と 母と娘と 一家総出と 春の谷津田に
- * 子供らは オタマジャクシに 歓声を ぬかる田んぼに 恐る恐ると
- * 昼時は 春の旨さの 天ぷらに 子供もそっと 手をのばしては
- * 子供達 遊び足りぬと 午後からも 手に網を持ち メダカ追いかく
- * 恒例の 集合写真に 納まって 稲作スタート 次は田植えと

(参加者 大人 15 名、子ども 7 名 報告：石橋紘吉)

第 43 回 小山町 YPP「コシヒカリの苗代づくり」

2009 年 4 月 12 日(日) 晴れ

地元の小学校が田植えに使うコシヒカリの苗代を YPP 作りました。柔らかい泥地なので、稲株で堤防のように外側を固めてから中を盛り上げました。1.2 x 2m くらいの小さな苗代です。1 週間浸水して芽出しをしたモミを薄まきにし、賢いカルガモ対策のネットをかけました。今年の生育はどうでしょう？

次に今年アシ原を開墾して復活させた田んぼで、クロ塗りと田んぼを平らに均す作業をしました。田んぼになったばかりなのに、シオヤトンボのヤゴやケラが見つかったり、シュレーゲルアオガエルが飛び出してきたり、生きものの気配がいっぱいです。そこで生まれたアカガエルのオタマジャクシも元気に泳いでいました。

田んぼは春爛漫。学校田んぼから時折、羽化したてのシオヤトンボがみずみずしく輝く羽根をやさしく羽ばたいて飛び立っていきました。色がもうブルーに変わって縄張りを張っているオスもいました。上空からツバメの声がして、昼間なのにあざみ谷の奥から時折、フクロウの声が響いてきました。



苗代にコシヒカリのモミをまきました

(参加者 大人 8 名、小中学生 2 名； 報告：高山邦明)

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 4月12日 学校田んぼからシオヤトンボが次々と羽化。ツバメが飛び、フクロウの声がする(高山)。
- 4月16日 抱接しているシュレーゲルアオガエルを目撃(齊藤)。
- 4月18日 田んぼの畦は春の草花でいっぱい。林ではウミズザクラが開花(高山)。
- 4月26日 林からアオバズクの鳴き声がする。田植えが進む田んぼではシュレーゲルアオガエルが大合唱(高山)。

下大和田

- 4月3日 林内はフデリンドウがいっぱい。タチツボスミレに続いてニオイタチツボスミレ、アカネスミレが咲き始めた。羽化したばかりのシオヤトンボも林内で体力を養っていた(網代)。
- 4月11日 すみれの仲間のパピリオナケア(外来種、下大和田初出現)が咲いていた。ホソミオツネトンボがブルーに変身して田んぼに出ていた。今まで見たどの個体よりも鮮やかなきれいな色合い。アジイトンボも出ていた(網代)。
- 4月18日 古代米播種の日に参加したお子さんが羽化したばかりのヤマサナエを捕まえた(網代)。
- 4月23日 代かきが終わった田んぼに目がぼちりなコチドリが飛来。川辺にはカワトンボが多数発生、田んぼではシオヤトンボが産卵。ホタルカズラが満開(網代)。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。

・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。

・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任をお願いします。

第97回「みんなでわいわい! コシヒカリの田植え」・第98回「古代米の田植え」

コシヒカリ、そして古代米の田植えをします。新緑～深緑の一日を楽しみながら気持ちのよい汗をかきましょう。

日時: 2009年5月16日(土) コシヒカリの田植え

6月7日(日) 古代米の田植え いずれも10:00~14:00、*雨天決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円)

持ち物: 長靴(できれば長め)、軍手、帽子、弁当、飲み物、お椀とハシ、敷物など。

参加費: 300円(資料代等)

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

第45回 小山町 YPP「コシヒカリの田植え」・第46回「古代米の田植え」

地元の方のお手伝いをしている田んぼにコシヒカリを、そして YPP の田んぼに黒米と緑米を植えます。生きものいっぱいの田んぼで楽しく作業をしましょう。

日時: 2009年5月30日(土) コシヒカリの田植え

6月13日(土) 古代米の田植え いずれも10:00~12:30 *小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場
(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 長靴(できれば長め)、軍手、帽子、飲み物、敷物など

参加費: 100円(資料代など)

主催: ちば環境情報センター

第113回 下大和田 6月の谷津田観察会とごみ拾い

アカガエルの子が畦を跳ねている頃です。谷津は生きものであふれる季節です。生きものの息吹を感じながら散策しましょう。上記 YPP「古代米の田植え」と同時開催になります。

日時: 2009年6月7日(日) 観察 10~12時 午後は田んぼの作業など自由活動 *小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(下大和田 YPP に同じ)

集合: 下大和田 YPP に同じ

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 300円(資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

編集後記 地元の方の田んぼでは田植えが終わりました。YPPの田植えはこれからです。下大和田も小山も YPP 田んぼに加えて、最近米づくりをやめた地元の方の田んぼを何とか田んぼのまま維持しようと稲を植えています。人力が足りずなかなか全部には手が回りません。一人でも多くの方のご協力を得られたらうれしいです。無理のない範囲で楽しく米づくりをしたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いします。(高山邦明)